

大学入試センターにおける新テスト（「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」）の検討・準備体制について

参考資料2

大学入学希望者学力評価テスト（仮称） （平成32年度実施）

○新テストの実施方針（平成29年度初頭）

- ・対象教科・科目の出題内容と範囲、テスト実施時期
- ・記述式の実施方法、採点方法・体制、成績表示
- ・民間試験を活用した英語四技能評価の方法
- ・正式実施までのスケジュール
- ・名称 等

○モデル問題〈国語、数学、物理、世界史〉の公表 （平成29年度初頭）

○プレテストの実施（平成29～31年度）

文部科学省

「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」検討・準備グループ

- 作問方法検討チーム
- 採点方法検討チーム

※平成28年8月31日「高大接続改革の検討状況」を公表

連携協力

親委員会と合同開催

新テスト実施企画本部

平成28年6月1日設置
本部長：理事長

平成28年8月～

専属7人体制

※うち試験問題企画官2名を配置〔国語、数学〕

○フィージビリティ検証事業実施

- ・記述式問題の導入（国語及び数学の作問、結果表示〈段階表示の在り方〉、採点方法・体制〈民間活用、採点支援システム〉、その他実施方法に係る事項）
- ・マークシート式問題の改善（思考力・判断力を一層重視した作問への改善、結果表示〈多様な情報の提供〉等）
- ・英語四技能評価（民間の試験の活用方法等を含む）

※特に28年度は、モデル問題の公表に向けて作題、モニター調査を実施

○作題方針・作題体制の見直し（評価すべき能力や作問の構造を作題に確実に反映、作題委員構成、委員への人材確保のための実効性ある方策）

○簡素化の方向を踏まえた出題科目の決定、各教科・科目における試験問題の構成検討（難易度、試験時間・問題数など）

○CBT導入に関する運用方法の検討

○プレテスト実施に向けた具体的な検討、作題

○新テスト実施企画委員会

○問題調査研究部会

国語WG

数学WG

地理歴史公民WG（世界史・日本史・地理・公民）

理科WG（物理・化学・生物・地学）

○記述式実施企画部会

○英語四技能実施企画部会

大学入試センター

独立行政法人大学入試センター新テスト実施企画委員会委員

荒瀬 克己	大谷大学教授	田中 義郎	学校法人桜美林学園常務理事 ・桜美林大学教授
乾 健太郎	東北大学大学院教授	林 篤裕	名古屋工業大学教授
◎ 岡本 和夫	独立行政法人大学改革支援 ・学位授与機構理事	東島 清	京都大学監事, 大阪大学名誉教授
沖 清豪	早稲田大学入試開発オフィス長	平方 邦行	工学院大学附属中学校 ・高等学校長
川上 浩良	首都大学東京入試改革担当 学長補佐	福永 博俊	長崎大学副学長・理事
木村 拓也	九州大学准教授	前川 眞一	東京工業大学大学院教授
島田 康行	筑波大学教授	宮本 久也	東京都立西高等学校長
清水 美憲	筑波大学教授	安井 利一	明海大学長
関根 郁夫	埼玉県教育委員会教育長	計 17 名	※50音順・敬称略 ◎：委員長